

令和7年度 福岡市PTA協議会 PTA啓発研修大会

講演

「人を育てて、自分を育てる」

元プロ野球選手 和田 毅 氏



講演会を受けて

今回の講演会では、元スポーツ選手であり、現在もプロの現場で指導に携わっておられる和田毅さんより、子どもと向き合う姿勢や、人を育てることの本質についてお話を伺いました。

結果だけを追い求めるのではなく、そこに至るまでの過程や準備、そして待つこと・見守ることの大切さを語られる言葉一つ一つに、長年の経験に裏打ちされた重みを感じました。

人それぞれ成長のスピードは違い、思春期にはホルモンの影響もあり、感情が不安定になることもある。だからこそ、大人が自分の思いを押し付けすぎず、できていないことを責めるのではなく、共感しながら関わることが重要だというお話は、保護者として深く考えさせられるものでした。

また、褒めることと甘やかすことの違い、子ども自身に意思を持たせること、そして支える側にも責任があるという視点は、家庭だけでなく学校や地域全体にも通じる大切な考え方だと感じました。

私自身、中学生の子どもを持つ親として、日々試行錯誤しながら子どもと向き合っています。以前のように自然に会話ができる日もあれば、距離を感じて戸惑う日もあり、近づいたり離れたりを繰り返す関係性の変化を実感しています。

そんな中で、自分自身が思春期だった頃、どのような気持ちで大人と接していたのかを思い出し、今の子どもの姿と重ねて考えることがあります。

失敗をどう受け止めるか、結果だけで評価しないこと、挑戦の仕方をどう支えるか。講師のお話は、そうした日常の中で私が感じてきた迷いや不安を、肯定し整理してくれるように感じました。

この内容は、中学生の子どもを持つ保護者にとっては特に共感しやすい部分が多いかもしれません。一方で、小学生のお子さんを持つ方には、少し先の話に思える部分もあると思います。

しかし、子どもが成長していく過程の中で、いつか必ず立ち止まり、関わり方に悩む時が来ます。

今回の講演で学んだ視点が、そのような場面で子どもを信じ、可能性を消さずに見守るための一つの支えとなり、家庭と学校が同じ方向を向いて子どもたちの成長を支えていけるきっかけになることを願っています。



発行元

福岡市PTA協議会
広報委員会
福岡市中央区舞鶴
1丁目4番13号
福岡市舞鶴庁舎6階

発行責任者

福岡市PTA協議会
会長 榊 淳英



福岡市PTA協議会
ホームページ
<http://www.fukuokacity-pta.jp>



福岡市PTA

印刷株式会社西日本新聞プロダクト

目次

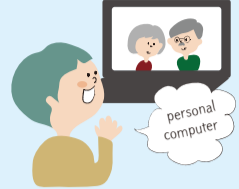
- 01 | 令和7年度福岡市PTA協議会PTA啓発研修大会
- 02 | 令和7年度早寝早起き朝ごはん啓発講演会・福岡市立特別支援学校PTA連合会創立50周年
- 03 | 第5回学ビバ!!FUKUOKA2025福岡県大会・福岡市PTA協議会主催「親子ふれあい事業」
- 04 | 令和7年度各種表彰受賞合同祝賀会・三行詩・モニターアンケート・編集後記

令和7年度
早寝早起き朝ごはん啓発講演会

子どもと電子メディア

子どもにどう使わせるか、親子でどう賢く使うか
小児科医の視点から解説

電子メディア（スマホ、タブレット、ゲーム、パソコンなど）に夢中
失うものは何？ 見えなくなったものは？



佐藤 和夫

国立病院機構九州医療センター小児科
ときつ医院
NPO法人子どもとメディア代表理事
日本小児科医学会子どもとメディア委員会

- スマホを使う時間、長いとどうなる!?
- 何のこと? 「メディアリテラシー」
- 小児科医からの提言! 年齢に応じた使わせ方

福岡市教育委員会・福岡市PTA協議会共催
YouTube配信

● 配信期間：令和7年7月15日～8月31日、
令和7年12月22日～令和8年1月30日

子どもにどう使わせるか、親子でどう賢く使うか
小児科医の視点から解説していただきました。

福岡市立特別支援学校PTA連合会 創立50周年

福岡市立特別支援学校PTA連合会（以下、特P連）は創立50周年を迎えました。

令和6年5月に創立50周年記念実行委員会を立ち上げ、記念行事等における協議を重ね、特P連の各单位PTAと連携しながら、各校での記念行事や記念式典・祝賀会を開催しました。

各校での記念行事は、令和7年5月から令和8年2月にかけて、市内に10校ある全ての特別支援学校において開催しました。

南福岡特別支援学校では、廃材を使って演奏を行うエコロジックシアター、若久特別支援学校では、テレビで放映中のナンバーワン戦隊ゴジュウジャーショー、福岡中央特別支援学校では、障害福祉サービス事業所ビートルライトによる演奏会、今津特別支援学校では、今津わくわくフェスタへの出張プラネタリウム、生の松原特別支援学校・特別支援学校「清水高等学園」では福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校によるステージ、東福岡特別支援学校では、SHOP EAST特別バージョンでの開催、特別支援学校「博多高等学園」では、プロのミュージシャンによるはかたの杜コンサート、屋形原特別支援学校では、福岡市消防音楽隊による演奏会、そして今年度新設された、特別支援学校「城浜高等学園」では、マジックショー・福岡市消防音楽隊による演奏会を行いました。日頃なかなか経験することのない特別な行事を開催したことで、各校では子どもたちの笑顔が溢れました。

令和7年11月7日、KKRホテル博多において、記念式典・祝賀会を開催し、福岡市副市長の中村英一様、福岡市議会議長 平畑雅博様、福岡市教育委員会教育長 下川祥二様をはじめ、多数のご来賓をお招きし、

約140名にご参列いただきました。記念式典では、実行委員長及び特P連会長 立木春香の挨拶に始まり、中村副市長・平畑議長・下川教育長よりご挨拶をいただいたあと、特P連歴代会長であり特P連顧問でもある佐伯拓史氏へ感謝状の贈呈を行いました。

その後の祝賀会は、特別支援学校校長会会長 板谷校長よりご挨拶をいただいたあと、福岡市PTA協議会会長 榊淳英氏による乾杯のご発声で開宴しました。それぞれお互いを懐かしみ、昔話に花が咲く中、とても温かい雰囲気祝賀会は進み、特P連のあゆみを綴ったスライドショー、そして障害福祉サービス事業所ビートルライトによる演奏で会場は大変盛り上がりしました。改めて、特P連が多くの方々に支えられていることを実感できた周年行事となりました。



記念式典・祝賀会で配布したリーフレットのPDF

心がゆれる3月は、
春の準備運動

3月になると、学校全体がふわりとそわそわし始めます。子どもたちは進級や卒業を前に、心の中で春の風がそつとさわめいているのかもかもしれません。「次のクラスはどうなるんだらう」「担任の先生は誰かな」そんな思いが、教室のあちこちで静かに広がっていきます。

そして、保護者のみなさんも、実は同じようにそわそわしているのではないのでしょうか。持ち帰ってくる作品の山を前に「これ、どこにしまおう...」と悩んだり、通知表を見て「この一年、いろいろあったなあ」としみじみしたり。年度末のプリントが増えるたびに、気持ちの中にも小さなざわめきが生まれるものです。

その一方で、一番そわそわしているのは、実は先生たちかもしれません。子どもたちの揺れる気持ちを受け止めながら、「このそわそわを、どうやって成長につなげよう」と、一人ひとりの様子を丁寧に見つめ、日々工夫を重ねています。子どもたちの声が消えた教室で、そつと明日の準備を整えているときも、心の中では全力で動いている――それが先生たちの3月です。

3月は、子どもも保護者も先生も、それぞれが次のステップへ向けて気持ちを整えていく季節。そわそわするのは、これから始まる日々へ向かう自然な揺れです。どうか、この変わり目の3月が、新しい日々へと歩み出す、穏やかな変化の入口となりますように。

事務局の片隅から

「事務局の片隅で」――教室の記憶とともに、子どもたちの未来を静かに見つめる人。

令和7年度 三P協主催事業

第5回学ビバ!!FUKUOKA2025 福岡県大会

令和8年1月17日(土) ミリカローデン那珂川

講師:「耕せにつぼん」代表 東野 昭彦 氏

演題:「子育ての逆の視点~自由にしていいよ、でいいの?~」

「耕せにつぼん」とは?

ひきこもり、不登校、ゲーム・スマホ依存と呼ばれる未来に希望を持ってない若者達のための自立支援学校で、大自然の中で人間の本来の心と他人と向き合う力を伸ばし、生きることや感謝の力を育む取り組みをしている。

1月とは思えないぽかぽか陽気の中、東野氏より貴重なお話を伺いました。

今回のお話で特に印象に残ったのは、子どもにやりたいことだけをやらせていると、やりたくないことをしない、我慢ができない、社会に適応できない大人になる場合があるという事でした。

その上で、『優しく受け入れる言葉のみでは無責任であり、制限を与える言葉とセットで伝える事が教育である。制限を与えることで個性が表れ、自分の本当の意思が分かる。』という言葉が心に残りました。

(セットで伝える言葉の例)

- 自己責任で生きるなら、自由に好きな事してもいいよ
- 人から選ばれる人になったら、付き合う人は選べばいいよ
- 人のありのままを認められる人になれば、あなたはありのままでもいいよ

○人の役に立つ事を学び、人にやってやりたい事をしたいよ

これからの時代は、人の上に立つためではなく、人の役に立つために、企業×家庭×学校が一貫した教育を行うことが必要であるというお話もありました。

大人は、自分の経験をもとに人の心を育てる言葉を責任持って伝えること、子どもたちは、多くの体験を通して人の心を知り、責任の取れる大人に成長できるよう、周囲が支えていくことが大切とのことでした。

私たち大人は、日々どんな想いで働いているのか、日頃から子ども達に話し伝えていくのもいいなと思いました。

特性のある子どもには別の方法もあるとのこと。気になる方は、ぜひ「耕せにつぼん」へ問い合わせてみてください。

東野氏は、お笑いを志していた経験や、大病を含むさまざまな人生経験をされてきたからこそ、非常に

引き込まれるお話で、あっという間の時間でした。

来年度は北九州市開催予定です。「福岡県はひとつ」という気持ちで、来年度もぜひ多くの方と一緒に学べたらと思います。



三P協主催事業とは、福岡県PTA連合会、北九州市PTA協議会、福岡市PTA協議会の合同事業です。

福岡市PTA協議会主催「親子ふれあい事業」

「オペラ座の怪人」が繋いでくれた、娘と父の新しい対話

令和7年12月27日、冬休みが始まったばかりの週末、私は中学2年生の娘と共に、キャナルシティ劇場へと向かった。福岡市PTA協議会主催の「親子ふれあい事業」、演目は世代を超えて愛される不朽の名作「オペラ座の怪人」を見るために。

正直に言えば、観劇そのものの期待と同じくらい、私には小さな不安があった。娘が思春期を迎え、成長するにつれて、家の中の共通の話題は目に見えて減っていた。何を話しかけても生返事が返ってくるが増え、父親として距離を感じることも少なくなかったからだ。

「はたして2時間以上もの間、彼女は集中して見ていられるのだろうか」そんな心配は、幕が上がった瞬間に霧散した。日本最高峰の劇団が繰り出す圧倒的な歌声、豪華絢爛な舞台装置、そしてシャンデリアが頭上を舞う非日常の空間。娘は瞬きを忘れたかのように、舞台に釘付けになっていた。それは私の「取り越し苦労」を鮮やかに証明する、彼女の凛とした姿だった。

しかし、本当の感動は終演後に訪れた。劇場を出た後、どちらからともなく劇の話が始まった。驚いたのは、娘が単に「すごかった」という感想に留まらず、登場人物たちの心の機微を驚くほど冷静に、そして客観的に捉えていたことだ。

「なぜ怪人はあの時、あのような行動をとったのか」「あの瞬間のクリスティーンは、どんな思いで歌っていたのか」

彼女の口から語られる言葉には、これまでの日常会話では気づけなかった、一人の大人としての「洞察力」が溢れていた。特別な知識も、芸術的な才能も、物語を語る能弁さも必要ない。ただ同じ場所で、同じ時間を共有し、同じ劇を見た。それだけで、あんなに深く感じていた娘との距離が、スッと縮まったのを感じた。

日本最高峰の劇団が作り上げた世界観は、言うまでもなく最高のものである。しかし、私にとつてそれ以上に最高だったのは、非日常的な芸術を媒介にして、成長した娘と深く、対等に語り合えた時間そのものであった。

忙しい日常の中では見落としてしまいがちな「子供の心の成長」を、オペラ座の怪人がそっと教えてくれた。そんな、一生忘れられない冬の日となった。このような貴重な機会を頂き心より感謝申し上げます。



小・中学生総合保障制度ご案内 [こども総合保険]

たくさんの安心で
大切なお子さまの
成長をサポートします

賠償補償

お友達にケガをさせる



自転車事故



身体の補償

通学中のケガ



日常生活のケガ



育英費用補償

扶養者が事故で
重度の後遺障害



補償内容を
動画でcheck



スマホで簡単手続き!
お申込みはコチラ



■制度に関するお問合せ先(取扱代理店) 株式会社コーリン(福岡市PTA協議会 保障制度事務局) 0120-228-553 受付時間/平日 午前9:00~午後5:00

〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セルス薬院5F <https://www.pta-corin.com/>

■引受保険会社(幹事会社)AKG損保(非幹事会社)東京海上日動、損保ジャパン、三井住友海上、CHUBBの広告は「小中学生総合保障制度(こども総合保険)」の概要についてお伝えしています。ご加入の際は必ずパンフレット及び重要事項説明書をご覧ください。

90-020(2027-01)

三行詩

「楽しい子育て全国キャンペーン」

～家族で話そう！我が家のルール・
家庭のきずな・命の大切さ～

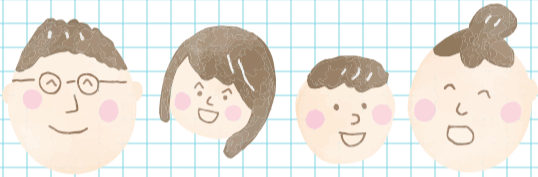
福岡市内より1,422作品（小学校1,029作品、中学校327作品、特支2作品、一般64作品）のご応募をいただきました。

今年度は福岡市より1名の方が入賞されました。おめでとうございます。

独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長賞

賀茂小学校小学6年 田所桃佳さん

私の心がくもった日 家族の一言で いい天気



149号モニターアンケート

- PTA九州大会の記事で各分科会の記事の書き方を
もっと統一した方が見やすいのではないかと。
- 集合写真ははっきりじゃなくて色々載せて欲しい。
- 様々な地域で『人と人がつながる』PTA活動が行わ
れていることが実感できた。
- 文字の大きさやフォント（UD文字）になると読みや
すいと思う。

編集後記

短い期間でしたが、いろいろな記事があり
盛りだくさんでした。なるべく読みやすくわか
りやすくを心がけてお届けしてます。ぜひ手に
取ってお読みください。

委員長 坂本孔明

令和7年度 各種表彰受賞合同祝賀会

令和7年度 各種表彰受賞一覧（敬称略）

【団体表彰】

福岡市教育委員会表彰

福岡市立三宅小学校PTA

公益社団法人日本PTA全国協議会会長表彰

福岡市立若久特別支援学校PTA

第47回全国小・中学校PTA広報紙コンクール

〈日本教育新聞社社長賞〉福岡市立柏原小学校PTA

〈佳作〉福岡市立高宮中学校PTA

九州ブロックPTA協議会会長表彰

福岡市立草ヶ江小学校PTA

福岡市立長尾小学校PTA

【個人表彰】

公益社団法人日本PTA全国協議会会長表彰

岡村 耕二 大野 雅士

沖田 由香 光安 巖

九州ブロックPTA協議会会長表彰

岡村 耕二

